

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 8 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 22 年 9 月 2 日（木）13:30～16:30
2. 場 所：北海道大学 工学部 A404 会議室
3. 出席者：横田委員長，古市幹事長，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，斉藤幹事，島幹事，武知幹事，田中幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事
（欠席者：杉浦副委員長，竹原事務局）
4. 配布資料
資料 幹 8-0 第 8 回複合構造委員会幹事会次第
資料 幹 8-1 第 7 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
資料 幹 8-2-1-1 示方書関係(福岡講習会 その 1)
資料 幹 8-2-1-2 示方書関係(福岡講習会 その 2)
資料 幹 8-2-2 示方書関係(国際会議出張報告)
資料 幹 8-2-3-1 示方書関係(出版物覚書書)
資料 幹 8-2-3-2 示方書関係(印税配分率)
資料 幹 8-2-3-3 示方書関係(印税関係)
資料 幹 8-3 平成 22 年度年次学術講演会について
資料 幹 8-4 成果の公表に関する申し合わせ 追記版
資料 幹 8-5 標準示方書の改訂について
資料 幹 8-6 出版関係
資料 幹 8-7 複合構造シリーズ 04 査読資料
資料 幹 8-8-1-1H203 維持管理小委員会(講習会関連 会告案)
資料 幹 8-8-1-2H203 維持管理小委員会(講習会関連 行事計画書)
資料 幹 8-8-1-3H203 維持管理小委員会(講習会関連 CPD 申請書)
~~資料 幹 8-8-2 H206 ずれ止め小委員会~~
~~資料 幹 8-8-3 H207 樹脂材料による複合技術研究小委員会~~
~~資料 幹 8-8-4 H208FRP 複合構造小委員会~~
~~資料 幹 8-8-5 H209FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会~~
~~資料 幹 8-8-6 H210 複合構造の防水排水技術研究小委員会~~
資料 幹 8-8-7 鋼と FRP の複合構造に関する新しい研究小委員会について
資料 幹 8-9 H22 年度の委員会，幹事会予定表
資料 幹 8-10-1 FRP による鋼及び複合構造の補修・補強小委員会報告書について その 1
資料 幹 8-10-2 FRP による鋼及び複合構造の補修・補強小委員会報告書について その 2
5. 議事内容
 - (1) 委員長挨拶
幹事会開催にあたり，横田委員長より挨拶があった。
 - (2) 第 7 回複合構造委員会幹事会議事録の確認（資料 幹 8-1）
武知幹事より，第 7 回幹事会議事録案が紹介され，承認された。
 - (3) 複合構造標準示方書講習会計画について（資料 幹 8-2-1-1，8-2-1-2）

田中幹事より、複合構造標準示方書の講習会計画（福岡）について説明があった。

- ・ 福岡での講習会は 12/13 の開催を準備中であり、会場は西新プラザとする。講師は田中幹事、藤井先生、上田先生、池田幹事、山口幹事、特別講演は日野先生に内諾を得ている。
- ・ テキストの販売は、土木学会本部から西部支部が買い取る形となる。
- ・ 予備費、管理費の計上の有無について、西部支部事務局に確認する。

(4) 複合構造標準示方書の PR 活動について（資料 幹 8-2-2）

田中幹事より、第 5 回アジア土木技術国際会議（2010 年 8 月 7 日（土）～12 日（木））にて、複合構造標準示方書に関する発表の報告があった。

(5) 出版物覚書について（資料 幹 8-2-3-1, 8-2-3-2, 8-2-3-3）

田中幹事より、出版事業課富田氏から「複合構造標準示方書」の印税の配分先と配分率などに関する出版物覚書について問合せがあった旨、報告があった。

- ・ 配分先と配分率は、上田先生と協議の上、田中幹事が案を作成して幹事会に諮ることとなった。

(6) 平成 22 年度年次学術講演会について（資料 幹 8-3）

本間幹事より、平成 22 年度年次学術講演会の研究討論会の進め方について説明があった。

(7) 出版物の査読方法について（資料 幹 8-4）

古市幹事長より、成果の公表に関する申し合わせについて説明があった。

- ・ 区分 3 では示方書類の出版できないことは記述されているが、小委員会設立時に小委員会委員長に説明することとする。
- ・ 本申し合わせは、委員会にメールにて承認を得ることとする。

(8) 標準示方書の改訂について（資料 幹 8-5）

渡辺幹事より、標準示方書の改訂について報告があった。以下の内容および今後の示方書関連小委員会については、今後も引き続き幹事会で議論することとする。

- ・ 改訂時期は、2014 年を目処とする。
- ・ 改訂の基本方針は、複合構造示方書として独自の原理原則に基づいた照査技術や要素技術を高めることを目指す。
- ・ 改訂にあたっては、複合構造委員会小委員会での最新の研究成果を示方書に取り込む流れを作ることに配慮する。
- ・ 現示方書の今後として、① 現示方書の Asia Code 化、② 現示方書の照査例の作成による示方書の啓蒙が考えられる。

(9) 出版関係(来期申請含む)について（資料 幹 8-6）

武知幹事より、出版図書販売状況他について報告があった。

- ・ 複合構造シリーズ 04 『FRP 歩道橋設計・施工指針(案)』の追加申請を行った。
- ・ 複合構造レポート『FRP を用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工』の出版取り下げは未申請であるが、出版課から取り下げる旨の連絡があった。
- ・ 平成 23 年度の出版企画書提出期限は平成 22 年 9 月 27 日であるが、出版企画書を提出する小委員会は H207 樹脂材料による複合技術研究小委員会、H206 ずれ止め研究小委員会である。出版企画書は、両小委員会の幹事長が作成して武知幹事へ送る。

(10) FRP 歩道橋設計・施工指針(案)の原稿審議について（資料 幹 8-7）

横田委員長より、差読者のコメントについて報告があった。

- ・ 今後、査読意見を提出する場合は、基本的には幹事会メーリングリストを用いることとする。提出期限は9/9頃とする。
- ・ 査読結果に基づき修正してもらうことを条件に、幹事会として出版を了承することとした。

(11) 小委員会関連報告と新設小委員会について

維持管理小委員会 (H203) (資料 幹 8-8-1-1, 8-8-1-2, 8-8-1-3)

溝江幹事より、「事例に基づく複合構造の維持管理技術の現状評価」の日本鋼構造協会との合同講習会準備について説明があった。

- ・ 会告は、土木学会誌 10月号に掲載される。
- ・ 日本鋼構造協会会員は、FAX のみの申込み受付とした。
- ・ 開会挨拶は、横田委員長とする。
- ・ 収支差（総収入から管理費の差）の配分は、土木学会 6割、日本鋼構造協会 4割とすることを日本鋼構造協会と内諾済みであり、本幹事会も了承することとした。
- ・ 参加費は、7000円（会員）、10,000円（非会員）、2000円（学生員）とする。

鋼とFRPの複合構造に関する新しい研究小委員会について (資料 幹 8-8-7)

西崎幹事より、幹事長候補は石川先生（京都大学）であることが報告された。

- ・ 幹事会として、小委員会の設立は承認することとする。委員会メーリングリストに設立趣意書と会告案を添付して、委員会承認を得ることとする。
- ・ 委員会で承認されることを前提に、委員公募を土木学会誌 11月号へ掲載する手続きを開始する。
- ・ 小委員会は、H211（予定）とする。

(12) H22年度の委員会、幹事会の予定 (資料 幹 8-8-9)

第9回幹事会

- ・ 開催日時：平成22年11月17日（水） 14:00～17:00
- ・ 開催場所：土木学会

第10回幹事会

- ・ 開催日時：平成23年1月21日（金） 14:00～17:00
- ・ 開催場所：土木学会

第4回委員会

- ・ 開催日時：平成23年2月9日（水） 14:00～17:00
- ・ 開催場所：土木学会

第11回幹事会

- ・ 開催日時：平成23年3月6日（日）～7日（月）
- ・ 開催場所：東京以外（候補：熊本）

(13) その他 (資料 幹 8-10-1, 8-10-2)

古市幹事長より、出版取り止めになった『FRPを用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工』について報告があった。

- ・ 印刷費、郵送費は、複合構造委員会の予備費から支出した。
- ・ 報告書（電子ファイルも含む）は、小委員会の内部資料として小委員会内で共有されるのは問題ない。

以上（記録・文責 山口）